慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	王子製紙株式会社編纂 三椏及三椏紙考
Sub Title	
Author	高橋, 誠一郎
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1940
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.34, No.12 (1940. 12) ,p.2343(125)- 2346(128)
JaLC DOI	10.14991/001.19401201-0126
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19401201-0126

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

れが排他的に作用すること、（三）政治的支配の相違が著しく對抗的意識を高めること等である。私が前掲論文に、一村が政治上分裂したために細分化の傾向があることを指摘したのは（七八頁）、この場合と事柄は異なるが、本質は同じである。もし麥倉村その他の埼玉郡が一時古河領から分離して天領となることがなかつたならば、恐らくこの兩岸の村と村との對立がかく明瞭になることはなかつたであらう。　（昭和十五年十二月十八日稿）

王子製紙株式會社編纂『楮及楮紙考』『三椏及三椏紙考』

高橋誠一郎

『楮及楮紙考』は王子製紙株式會社が皇紀二千六百年記念出版の一として今春紀元節を卜して上梓せるものであり、又、『三椏及び三椏紙考』は同會社が其の姉妹編として今秋明治節に當つて發兌せるものである。明治八年澁澤榮一を社長として成立した王子抄紙會社の昔から專ら洋紙製造に從事し來つた王子製紙株式會社が、是れ等兩書を佳辰記念事業の一として美裝して世に送つたことは、同會社の注意が漸く和紙生產の方面にも向はしめられたる一證左として觀るを得可きものであらう。明治維新以來、洋紙全盛の勢ひに壓せられて、只管衰滅の一路を辿りつゝあるかの觀があつた我が和紙の製造が、支那事變以後、次第に各方面の注意を喚起しつゝあるの時、同會社が其の生產技術に關する貴重なる文獻資料を纂輯發兌せることは洵に時宜に適するの擧と稱せざるを得ない。

『楮及び楮紙考』は紙話會同人關彪氏の『楮文學及楮考』、茨城縣大子營林署長矢澤賴忠氏の『楮の栽培と楮皮の生產』、元內閣印刷局抄紙部長佐伯勝太郎氏の『楮皮及び三椏皮』、土佐の製紙家吉井源太氏の『楮』、凡そ文化年間に

著されたものと推定せらるゝ所のものであつて今日に至る迄未だ出版せらるゝことのなかつた農政學者大藏永常の『紙漉必用』、獨逸の博物學者にして醫師たるエンゲルベルト・ケムプェル（Engelbert Kaempfer）の有名な『日本史誌』（Geschicte und Beschreibung von Japan）中の「楮」（Kaadsi）を一千七百二十七年倫敦版英譯本一千九百〇六年グラスゴウ覆刻版 The History of Japan, together with a description of the Kingdom of Siam. より拔錄せるもの、並びに『楮紙標本小註』及び昭和元年以來の作付段別、收穫高、價額及び一段歩收穫高を示せる農林省發表の楮、三極生產統計より成るものである。而して『三極及三極紙考』には、前記關彪氏の『三極考』、元內閣印刷局勤務片倉健四郎氏の『三極及び三極紙に就て』及び『三極及楮の地理的分布』、元靜岡縣庵原郡書記瀧正古氏の『三極栽培錄』伊豆國田方郡神島村の農業家梅原寛重氏の『結香培養新說』、內閣印刷局研究所調査報告『三極皮の化學的考査』、マールブルク及びボン大學教授ヨハン・ユスツス・ライン（Johann Justus Rein）が一千八百八十一年から六年に亙つて萊府で出版した『日本』（Japan nach Reisen und Studien. の第二卷『農林業、工業及び商業』（Land und Forstwirtschaft, Industrie und Handel）中の一節を英譯本より重譯せる『日本の紙』、及び前記大藏永常の天保十五年の著『廣益國產考』の木版本よりの複寫『三股を黑地に植て益ある事』が收錄せられてゐる。

「上古齋部氏の部下が造る幣帛は、麻を種ゑて靑和幣を織り、穀（かぢ）を種ゑて白和幣を織り」云々と言はれた、麻と並んで神代以來の織物原料であつた楮即ち穀が、織物原料たる地位を棉に讓つて、專ら製紙原料として使用せらるゝに至り、明治初期に及ぶ迄、和紙は即ち楮紙たるの觀を呈し、而して、慶長以前よりして既に使用せられては居つたが將軍家治の明和時代若しくは將軍家齊の天明時代以降所謂駿河半紙の原料として其の使用高を增加し、次いで明治十年の頃　初代印刷局長即ち當時の紙幣頭得能良介氏によつて印刷局抄紙部、即ち當時の大藏省紙幣寮に於いて我が紙幣用紙抄造の原料として採用せられてより漸く其の眞價を認められた三極により終に其の使用量に於いて凌駕せられ、軈がて西洋紙全盛の時代と爲るに及んで、パルプ・禾穀類に其の道を讓つて、製紙原料としての將來性を失ひ、其の栽培地面積も漸次低下するに至るの經路を知るは決して興味なき業ではない。而して又、『日本書紀』には推古天皇の十八年春三月、高麗の僧曇徵來朝して紙墨を作つたことが記され、持統天皇の朱雀三年には令二十二卷を諸司に班ち、大寶令には、圖書寮に「造紙手四人あり、雜紙を造るを掌」り、又紙戶あつて製紙に從事し、且つ紙を以つて調の副物（そはりつもの）と爲し、延長五年十二月に撰定を終つた延喜式には、諸國の別貢及び中男作物に紙を貢せしめ、又諸國より貢進する麻・穀皮、斐皮、藁等の材料を以つて朝廷直轄の下に年料として凡そ二萬張の紙を造らしめ、定數を以つて諸司の間に配分せしめたるが如き、飛鳥朝及び奈良朝時代には專ら朝廷の力に依つて發達し弘布せる我が製紙の術が、平安朝時代に至つて益々進歩し、其の製法殆んど全國に普及し、就中、美濃紙の名殊に高かつたのであるが、其の供給は需要に應ずること能はずして、鎌倉時代より足利時代に掛けて其の不足愈々著しく、應仁の大亂以後美濃紙の如きは領主土岐氏の奬勵を受けて益々發達を見、紙の特殊市場成立し、近江商人の手を經て中央に進出し、紙座の構成を見ることゝ爲り、德川時代に入つては其の需要更らに一層增加すると共に、幕府の奬勵を受けて楮の栽培盛んに行はれ、紙の商品生產著しく發達しながらも、猶ほ依然として手漉の方法によつて行はれた其の生產が、泰西の製紙技術の渡來に伴ひ、和紙の製造に於いても機械の使用を見るに至り、又、農家の副業、藩の專賣若しくは個人企業として經營せられて來た和紙製造にも或ひは會社組織によるもの現れ、或ひは產業組合の力を借るものを生じ、而して原料の點に於いても種々なる代用品の使用を見るに至れるの事實を注視するは經濟學徒に取つて決して無用の事ではあるまい。吾人は麻及び雁皮と共に我が歷史的製紙原料たる楮及び三極に關

王子製紙株式會社編纂『楮及楮紙考』『三極及三極紙考』

する古來の文獻資料が收輯刊行せられたることを欣び、玆に一言紹介の辭を述ぶるものである。

（王子製紙株式會社販賣部總務課發行。前書定價貳圓五十錢　後書參圓）

前號（第三十四卷十一月號）目次

●自動車交通事業法の改正に就て　増井幸雄
●國防經濟欲求の調達
——國防經濟の再生産過程——　武村忠雄
●日本地理區の研究と國土計畫　小島榮次
●エドマンド・ホイッテーカー著『經濟觀念史』　高橋誠一郎
●江戸下肥取引について
——（社會經濟史資料紹介）——　野村兼太郎
●古版經濟書解題
一千六百十五年版ロバート・キール著『トレーヅ・インクリース』　高橋誠一郎
●杉榮著「理論統計學研究」　寺尾琢磨
●塚原仁著「人口統計論」　寺尾琢磨

●一冊定價金五拾錢（郵稅金壹錢五厘）
●半ヶ年分金貳圓九拾錢
●一ヶ年分金五圓四拾錢
郵稅共（停）
●編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛
●營業に關する用件は發賣元宛
●原稿締切期日は發行の前月十日限
昭和十五年十一月廿五日印刷納本
昭和十五年十二月一日發行
毎月一回一日發行
三田學會雜誌
禁轉載
第三十四卷第十二號
東京市芝區三田二丁目二番地慶應義塾内
編輯兼發行者　江田範保
東京市赤坂區新町五丁目四十二番地
印刷者　金子鐵五郎
東京市赤坂區新町五丁目四十二番地
印刷所　金子活版所
東京市芝區三田二丁目一番地
發賣元　丸善株式會社三田出張所
電話三田(45)一九二六番
振替口座東京一九二七番
一八五二番
●尚ほ本誌は全國各市雜誌店にて販賣す
東京芝三田慶應義塾内
發行所　理財學會
振替口座東京一八二〇四番
芝區三田二ノ二
慶應義塾